

## 明専トランプを活かした交流事例

### 「東京支部」

東京支部では、平成27年に明トランプが発足し、新橋・鳳龍クラブにおいて、3カ月ごとに年4回、土曜日13～17時に定期開催を行っています。コロナ禍で一時中断しましたが、2月22日で30回を迎えます。平均参加人数は、コロナ前が14人、コロナ後が10人です。基本は17点マッチですが、参加人数が多い場合は、試合時間を指定して進めています。個人戦と分会対抗戦を企画していますが、最近は人数が少ないため、個人戦開催となっています。17時から懇親会です。会費は会場費500円を入れて2500円です（懇親会参加は任意）。

参加者の構成は昭和卒の方が中心です。コロナ後は人数が少なくなってきました。新規参加者発掘のために、若手や女性の参加などにも取り組んでいきたいと考えているところです。終の棲家が定まる定年前後で参加される方が続いていたのですが、世の中の定年が60歳から65歳に移行

する中、空白期間が発生しているのかもしれないと感じています。

明トランプの輪を広げるきっかけとして、オンライン明トランプ機能を利用した各支部との交流はどうかと思案したりしているこの頃です。

関東地区でご関心ある方には開催案内を送付します。是非、左記アドレスまでご連絡をお願い致します。

email: funitakahiguchi@outlook.jp



▲懇親会風景

(制59 樋口文孝)

### 「宗像支部」

当支部では毎年、福岡県宗像市の赤間地区コミュニティセンターで明専トランプ大会を行っています。

昨年は2月4日に第11回目を催し、11人が参加しました。有働洋一支部長（加55）は「北九州支部などからも参加をいただきありがとうございます。」と挨拶。ルールの説明のあとは、数十年ぶりにプレーする人もいるため、プレーヤーの後ろに教える人がついて、まるで入学した学生に明トランプを教えるときのような光景もありました。しばらくすると、勘を取り戻し、カードの流れに一喜一憂しました。前大会までは、床の座布団に座っていましたが、今回は机の上に座布団を置き、椅子に座って楽しめるようにして、先輩方に好評でした。

また、同じ時刻に行われた「めいせんこ」とコラボし、超高速カメラの講演を聞くことができ、頭はフル回転できました。

大会は17点マッチの勝ち数と得失点差で順位を決め、初参加の近藤孝之さん（加55）が優勝しました。参加賞は、明トランプ伝承プロジェクトが

作成した限定300枚の「明トランプ巾着」で、喜ばれました。

今年のこの大会は、2月16日（日）13時から、同じ会場で開催します。明トランプができる方ならどなたでも参加できます。会場は、JR教育大前駅から徒歩10分です。会場には大きな駐車場がありますが、閉会後に居酒屋で親睦会を行う予定です。車の来訪はご配慮ください。なお、参加費は500円、懇親会は実費です。是非ご参加ください。



▲参加者の集合写真

(二電H3 藤井雄一)

「熊本支部」

当支部では会員相互の親睦を深めるために、4人以上でのレクリエーション開催時には支部から補助金を出すように定めています。これに基づき大木・古木を見る会等実施してしました。これらに加えて総会時の午前中を利用した明トラ大会を実施する運びとなり、10年以上続く恒例行事となりました。大会は例年10名程度の参加をいただいています。ほとんどの方が年1回の明トラで、チヨンボも交えながら和気あいあいと楽しい時間を過ごしています。

多くのメンバーと組め、また待ち時間を少なくするために、10点勝負とするなどの工夫もしています。午後からは総会が控えているため昼までの大会ですが、寸分の間を惜しみ弁当を食べながらの熱戦が続いています（前述のレクリエーション補助金を弁当代に充当）。

令和6年度の大会は10月12日（土）、総会開催日の午前中、総勢9名の参加によって行いました。対面は固定せず行うため、優勝者の決定は個人ごとの勝ち点、得点差制とし、今年

を勝ち取られました。

順位	氏名	学科・卒年
1	木村 明敏	二電・S49
2	川上 悦朗	機二・S51
3	今福 英明	化・S42
4	乙益 裕重	加・S61
5	神田 一伸	二電・S49
6	村山 寛	金・S50
7	島川 学	情・H03
8	矢鍋 幸博	機二・S59
9	西山 裕之	機二・S59

▲令和6年度明トラ大会参加者と成績

今年の開催も決定していますが、総会も含めて若手の参加が少ないことに危惧を感じています。本プロジェクトを通じて一人でも多くの方が明トラに興味を示し、各種大会に参加されることを熱望します。



▲令和6年度明トラ大会対戦の様子

（熊本支部長…機二59 矢鍋幸博）

「めいせんサークル」

「めいせんサークル」は、旧明専寮が廃止された直後に、九州工大の伝説である巻頭言や明専トランプを後輩に引き継ぐために創設された学生サークルですが、普段は主に、体育館でバスケットボール、バレーボール、フットサルといった球技を行い、多くのメンバーで賑やかに活動をしています。

明専トランプは、スポーツを行う合間に体育館の隅で楽しんでいますが、運動が苦手な仲間も含めて、交流を深めることができています。トランプさえあれば場所を選ばずにできる手軽さが明トラの良さで、サークル活動にはなくてはならないものとなっております。

最近では、令和5年に行われた「明トラ教室」に参加したり、令和6年4月に行われた「新入生歓迎フェスティバル」で明トラの紹介・デモンストレーションなどをしました。1年生部員の中には、このフェスティバルでルールを覚えた人もいます。

私たちは明専会の木原理事をはじめとした多くの先輩方のご協力もあり、少しずつではありますが、学内

における明専トランプの普及活動を行うことができている。

またサークルには、九州工大生だけでなく、西南女学院の学生もいるため、学外に向けた普及活動も行うことができている。

現役学生で明トラを覚えて、楽しみたい方は、遠慮なくご連絡ください。



▲体育館で明トラを楽しむメンバー

（部長…工学部機械知能工学科

2年 砂田大智）